

(一社) 全国古民家再生協会奈良第一支部 例会 議事録

記録日： 2015年6月21日

記録者： 中西 直己

団体名	一般社団法人全国古民家再生協会奈良第一支部
開催日時	2015年6月21日(日) 10:00~12:00
開催場所	奈良県宇陀市菟田野地内 リフォーム現場
出席者	中西直己・林義朗・中西春代・井門晃・田中昌明・藤井良真・水本雅信・山口晃司・寺本武・岡本吉生
開会 出席者確認 支部長挨拶 本会報告事項	<p>今回は本社工務店(輪和建设)施工のリフォーム現場の見学とさせていただきました。</p> <p>リフォームの内容は、伝統構法の耐震補強並びに断熱改修です。</p> <p>奈良県古民家再生協会 会員の山口氏による限界耐力計算に基づいた耐震補強について本人から現場の説明をしていただきます。</p> <p>できる限り現状の間取りを生かすために限界耐力による耐震補強を採用しました。</p> <p>在来に変えてしまうと、施工費も高額になるうえ耐力壁の数もたくさん必要となります。</p> <p>限界耐力計算によれば、必要最低限の耐力壁で施工が可能です。</p> <p>耐力壁は、耐震リングおよび荒壁パネルを使用。</p> <p>それによって土壁のような弾力のある耐震壁を作っています。</p> <p>ツシの一部を撤去して吹抜けとしたため床構面の耐力が大きく減ったので、その分耐力壁の数は増えています。</p> <p>断熱に関しては、屋根及び床下はスタイロによる断熱。</p> <p>開口部は、アルミと樹脂の複合サッシを使用。</p> <p>壁は特別なことはせず土壁を維持した状態です。</p>
審議事項	どんな状態(築年数?)の古民家ならば限界耐力で対応できるのか
学習プログラム	今回は、実施しておりません。